

# 復興支援フォーラムニュース No.107

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

## <第105回ふくしま復興支援フォーラム>

311以後の映画

～直後から現在まで。そして“5年後の作家たち”の時代～

阿部 泰宏 (フォーラム福島支配人)

列1	列2	列3	列4	列5
映画から原発を考える	上映期間	配給元	監督・製作者	製作国
100,000年後の安全	2011.6/18～7/1	アップリンク	マイケル・マドセン	(2009/デンマーク、フィンランドほか)
黒い雨	7/2～15	今村プロ	今村昌平	(1989/日/2h03)
ナージャの村	7/23～29	ポレポレタイムス社	本橋成一	(1998/日/1h58)
アレクセイと泉	7/30～8/5	ポレポレタイムス社	本橋成一	(2002/日/1h44)
東京原発	8/13～26	バサラピクチャーズ	山川元	(2004/日/1h54)
みえない雲	9/3～9	J・シネカノン	グレゴール・シュニツラー	(2006/独/1h43)
チェルノブイリ・ハート	9/3～23	ゴーシネマ	マリオン・デレオ	(2003/米/1h01)
あしたが消える～どうして原発?	9/24～10/7	マジックアワー	千葉茂樹	(1989/日/55min.)
一年の九日	10/27のみ	ロシア映画社	ミハイル・ロンム	(1961/ソ連/1h41)
バベルの塔	11/26～12/9	京都映画人9条の会	高垣博也	(2011/日/ )
アンダーコントロール	2012.1/7～13	ダゲレオ出版	フォルカー・ザッテル	(2011/独/1h38)
friends after 311 劇場版	5/26～6/2	ロックウエルアイズ	岩井俊二	(2012/日/2h15)
プリビヤチ	6/2～15	アップリンク	ニコラウス・ゲイハウター	(1999/独/1h40)
第4の革命 エネルギー・デモクラシー	6/16～22	ユナイテッド・ビーブル	カール・A・フェヒナー	(2010/独・デンマークほか)
第五福竜丸	6/23～25	近代映画協会	新藤兼人	(1959/日/1h47)
ニッポンの嘘 報道写真家・福島菊次郎	12/17～23	ビターズエンド	長谷川三郎	(2012/日/1h54)
希望の国	12/1～1/3	ビターズエンド	園 子温	(2012/日・英・台/2h13)
おだやかな日常	2013.3/9～15	コミュニティシネマ	内田伸輝	(2012/日・米/1h42)
福島 六ヶ所 未来への伝言	3/16～22	六ヶ所みらいプロジェクト	島田 恵	(2013/日/1h45)
渡されたバトン さよなら原発	6/15～28	「日本の青空Ⅲ」製作委員会	池田博穂	(2013/日/2h00)
犬と猫と人間と2 動物たちの大震災	9/14～20	東風	戸内大裕	2013/日/1h44
天に栄える村	10/19～11/1	桜映画社	原村政樹	2013/日/1h46
飯館村 放射能と帰村	11/2～8	浦安ドキュメンタリーオフィス	土井敏邦	2013/日/1h15
朝日のあたる家	11/9～15	渋谷プロダクション	大田隆文	2013/日/1h58
家 路	2014. 3/1～4/21	ビターズエンド	久保田直	2013/日/1h58
世界が食べられなくなる日	1/11～17	アップリンク	ジャン＝ポール・ジョー	2012/仏/1h58
東電テレビ会議 49時間の記録	5/10	Our Planet TV	<東京電力>	2013/日/3h26
放射線を浴びたX年後	5/10～16	ウッキー・プロ	伊東英朗	2012/日/2h18
遺言 原発さえなければ	5/18～20	ウッキー・プロ	豊田直己、野田雅也	2014/日/3h45
物置のピアノ	8/23～9/19	シネマネストジャパン	似内千晶	2014/日/1h55
あいつがぼくのまち	8/30～9/5	太秦	菅乃廣	2013/日/2h06
日本と原発	2015. 2/7～13	河合弘之法律事務所	河合弘之	2015/日/2h18
小さき声のカノン 一選択する人ター	3/7～4/3	ぶんぶんフィルムズ	鎌仲ひとみ	2014/日/1h59
種まきうさぎ	10/24～30	自主制作	森康行	2015/日/1h27
春よ来い 蜜蜂と熊とアキオさん	11/27のみ	ミル・インターナショナル	安孫子亙	2015/日/1h11
LIVE! LOVE! SING!生きて愛して歌うこと 劇場版	2016. 1/16～29	マジックアワー	井上 剛	2015/日/1h40
首相官邸の前で	1/23～29	アップリンク	小熊英二	2015/日/1h49
さようなら	2/6～12	ファントム・フィルム	深田晃司	2015/日/1h52
大地を受け継ぐ	2/6～12	太秦	井上洋一	2015/日/1h26
[黒塚 KUROZUKA] 黒と朱、黒と光	2/21上映会&トークセッション	はまなかいづプロジェクト	渡辺晃一プロデューズ	
お母さん、いい加減あなたの顔は忘れてしまいました	3/19～25	シマフィルム	遠藤ミチロウ	2015/日/1h42
ひそひそ星	7/16～22	日活	園 子温	2015/日/1h40
シン・ゴジラ	7/29全国公開	東宝	庵野秀明	2016/日/2h00
日本と原発 4年後	10/1～7	enter the DEE	河合弘之	2016/日/2h18
飯館村の母ちゃんたち まととみに	10/8～14	ローポジション	古厩みずえ	2016/日/1h35
太陽の蓋	10/29～11/4	太秦	佐藤 太	2016/日/2h10
「知事抹殺」の真実	2016.12/12 および 2017.1/28～2/10	ミル・インターナショナル	安孫子亙	2016/日/1h18
残されし大地	2/15 および4月以降	太秦	ジル・ローラン	2017/ベルギー・日/1h12
広河隆一 人間の戦場	3/4～10	東風	長谷川三郎	2016/日/1h38
奪われた村	3/18～24	自主制作	豊田直己	2016/日/1h03

image. Fukushima 上映作品	
列1	列2
原発切抜帖	
生きてるうちが花なのよ死んだらそれまでよ党宣言	エドワード・サイード OUT OF PLACE
太陽を盗んだ男	フクシマ2011 被曝に晒された人々の記録
トラック野郎 一番星北へ帰る	3.11 Sense of Home Films
百万人の大合唱	そして人生はつづく
海盗り 下北半島・浜関根	相馬看花 -奪われた土地の記憶-
ミツバチの羽音と地球の回転	プロジェクト FUKUSHIMA !
相馬高校放送部「今伝えたいこと(仮)」	苦海浄土
少女ムシエツト	あやまち
フタバから遠く離れて	阿賀に生きる
フタバから遠く離れて 第二部	長良川ド根性
わが谷は縁なりき	うたうひと
生きていてよかった	100人の子供たちが列車を待っている
鳩ははばたく	メイン州ベルファスト
世界は恐怖する 死の灰の正体	流血の記録 砂川
ヒバクシャ 世界の終わりに-	花物語バビロン
ミツバチの羽音と地球の回転	バビロン2 -THE OZAWA-
六ヶ所村ラブソフィー	昭和郡盗伝2 月の砂漠(破廉恥舌戯テクニク)
無常素描	ストーリー
第四の革命 エネルギー・デモクラシー	

~~~~~

## 第104回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

2017年1月12日に、福島市内A O Zで、第104回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。佐藤宏美さん（ふくしま連携復興センター 広域避難支援チーム）から「広域避難の現状と課題」について報告をいただきました。

寒い中、39人が参加され熱心な質疑応答もなされましたが、会場で提出されたご意見・ご感想は、以下の通りです。参考にいただければ、幸いです。

~~~~~

★ 現場のリアルな報告と実感を伺えて勉強になりました。データなど不備な部分については、私も含め皆で考え、対策を立てていければと感じました。分断解消のためにも、それぞれが交流をもって心を配ることが大切に思いました。ありがとうございました。（M.H）

★ 避難先の現場を頻繁にまわっていらっしゃるだけあって、自主避難者に関する新たな課題を見出すことができました。（N.O）

★ 交流会の状況のところで「出てこられない方が心配」とあり、仮設住宅の交流会とどうような感想が出ていて、興味が深かったです。個人情報等、いろいろな壁を越えての活動に敬意を表します。（Y.I）

★ 今回、話しが全くに詰まらなかった。引き続き、話しをする必要があると思う。（S.S）

★ “広域避難”の意味を再度考える場となりました。（S.S）

★ 色々な立場、境遇の方に対し相談の対応に大変苦労されている事が分かりました。相談対応される方々に、的確なアドバイス、相談できる方々のバック up が重要と思いましや。（Y.M）

★ 直接避難者の声を聞かれる立場にある方のご講演をいただき、心より感謝申し上げます。（K.F）

★ なかなか実状を知り得ないお話をありがとうございました。今日のテーマは、とてもセンシティブな問題で、聴講者のひとりひとりの情報量・考え方によって、質疑応答も多岐に渡り、有意義でありながらも、発信には片寄りが出ないように気を付けなければならないと思いました。福島に残っていた人たちも、一緒に復興に向け取り組むのであれば、最後にお話のあった「戻りやすい環境をつくる」ことが大切であり、どうしていけばよいか考えていく必要があると思いました。（A.K）

★ 避難の実態の把握について、現実はなかなかむずかしいことをあらためて認識しました。住民票の取扱いの問題、家屋の取扱いの問題など正確に把握したいと思います。（Y.A）

★ 福島県外の人で、原発事故で避難した人が一定程度いたというのが一番の驚きでした。そういう人に比べれば、「自分たちは支援を受けられるだけマシ」と福島県内からの自主避難者の思っているとは・・・問題は深刻ですね。(K.M)

★ 避難されている方々には、今まで思い至らなかった悩みがあるのを知ることができた。(I.O)

★ 報告者の佐藤さんはじめ担当の方の、大変なご苦勞を垣間見た貴重な機会となった。壮大な経験の体系を今後どう生かし伝えていくか、社会全体、時代全体の課題だと思った。今回はデータ資料が欲しかった。(S.I)

★ お話いただいた課題は大きなものですが、各地の支援団体や避難先市町村との連携を深めれば、解決できるものも多いと感じました。(A,T)

★ 各回、貴重な報告なので、動画のアーカイブ等を検討いただきたいです。(T.M)

★ 他都道府県の避難の数字だけでなく、その背景や避難者交流会に関する支援団体からの情報、避難先自治体の格差の比較など、初めて聞く内容も少なからず含まれていて有意義だった。今は6割は「戻らない」と考えていても、今後人生のステージが変わった時に戻って来てもらうつながりを大切に保つとともに、戻りやすい環境を整えておくことの必要性については、まさに同感である。(S.Y)

~~~~~  
【予告】第106回ふくしま復興支援フォーラム 2017年2月22日(水) 18:30~20:30

「被災者が主役の復興目指して ~試みとしての車座会議~」

報告者：田村 泰生 氏(特定非営利活動法人 超学際的研究機構理事)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」視聴覚室

MAXふくしま4F (福島市曾根田町1-18)

~~~~~  
◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第104回ふくしま復興支援フォーラム(1月12日)の会場で、カンパ4000円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)